

# 5部

オンデマンド・  
スクーリングのご案内



在宅で受講可能な「オンデマンド・スクーリング」を下記の科目について、実施いたします。※同一期に複数科目の申込みができます。

**[重要]**

オンデマンド・スクーリングでは、受講申込みからスクーリング試験提出まで、すべてパソコン上で操作していただきます。

また、オンデマンド・スクーリングのスクーリング試験は、一部の科目を除き、ワードファイルに解答を作成していただき、そのワードファイルをメールに添付して提出していただきます。

本学において、メールの送信、ワードの使用方法などパソコンの一般的な操作方法に関するご質問は受付けておりませんのでご了承ください。

**●今回申込みを募る科目＝オンデマンド・スクーリング 12～14期**

期	(注2)			科目名	申込締切 (注1)	受講開始	受講料 納入締切	スクーリング 試験締切 (注1)	S単位	受講料
	～20	21 ～23	24 ～							
12		■		精神保健福祉の理論	10/6	10/16	10/26	11/14	1	5,000円
	◆	★		精神保健福祉論Ⅰ						
	共通基礎			ボランティア論						
		★	■	社会福祉援助技術総論						
	心理系			心理学概論						
13	◆	★	■	発達障害者の地域支援	10/20	10/30	11/9	11/21	1	7,000円
		★	■	社会福祉援助技術論A						
	心理系			障害児の心理						
	◆		■	精神保健福祉の制度						
		★	■	精神保健福祉論Ⅲ						
14		★	■	福祉経営論	11/3	11/13	11/23	12/5	1	5,000円
	◆			福祉施設管理論						
		★	■	福祉行財政と福祉計画						
	◆			福祉計画法						
	◆	★	■	就労支援サービス論						
14	◆	★	■	福祉心理学	11/3	11/13	11/23	12/12	1	5,000円
	◆	★	■	家族法						
	心理系			統計情報を見る眼						
	特別支援			知的障害者の心理						

## ●申込上の留意点

(注1) 締切日の正午必着。締切日後1～3日間は必ずメールをチェックしてください(不備の場合連絡します)。

(注2) ◆=平成14～20年度入学者 ★=平成21～23年度入学者

■=平成24年度以降入学者向け科目

※オンデマンド・スクーリング申込・受講・単位修得方法やTFUオンデマンド使用方法の詳細は『学習の手引き』10章、概要は2013、2014版p. 11、2009-2011★版および2002-2008◆版p. 9に記載がございます。必ずご理解いただいたうえで受講申込みを行ってください。

※各科目のスクーリング試験の内容などは締切後受講開始日までに郵送(または「TFUオンデマンド」上からダウンロード)される「試験要領」で確認ください。

## ●「2つの講義(試験)は同時に視聴(受験)できません」と表示される場合について

『試験・スクーリング 情報ブック2014』p. 59～60(または4月新入生は『学習の手引き 2014』p. 270)に対処方法が掲載されています。

※その他、不具合等に対する対処法などは、『学習の手引き』10章 VIII TFUオンデマンド使用上の留意点をご参照ください。

## ●『試験・スクーリング 情報ブック2014』p. 58～59訂正のお願い

10月～3月開講分オンデマンド『With』掲載号がすべて1号ズレています。訂正のうえ、ご利用ください。

100号→101号 101号→102号 102号→103号 103号→104号

## スクーリング・アンケートより(4)

アンケートよりスクーリングの講義の感想を抜粋いたしました。

### ●心理学実験Ⅰ・Ⅱ

- ・ペアになって実験を行えたので、これまで孤独感が強かったスクーリングが楽しいと感じられました。みんな苦労している点が似ていて、良い刺激を受けることができたと思います。
- ・概念学習の講義がとても面白かったです。感覚的に「思い込んでいる」ことを、客観的に分析するというのが興味深かったです。

### ●臨床心理学【札幌】

- ・「クライアントが自分で考え、感じ、行動する」ということが援助の際に目指すものであるということを改めて考えさせられました。
- ・臨床心理学は難解なイメージがありましたが、受講することでその学びへのハードルが下がった気がします。大変勉強になる内容でした。
- ・このスクーリングを受けてから実習に臨めた方が、障害者の方々生きづらさをもっと深く理解できたように感じます。福祉心理学科の学生だけでなく、社会福祉学科の学生も受けてもらいたい講義です。

### ●障害者福祉論

- ・障がい者への差別は気づかないうちにあるのではないかと感じた。また、「障がい者」という言葉について考えせられ、もし自分や家族、友人が障がいを持った時に「障がい者」とは呼ばれたくないし、呼びたくないと感じた。代わる言葉はあるか、今後も考え続けていきたいと思う。
- ・脳性麻痺当事者の方の意見を聞くことができたが、出生前診断について、命の重さとともに深く考えなければいけない問題であると考えさせられました。
- ・先生の資料がとても丁寧で、講義も先生自ら使用している補助具を拝見させていただき、勉強になりました。実感がわき、楽しく受講させていただきました。

### ●社会福祉援助技術実習指導B-3+演習C-2

- ・ソーシャルワーカーには他人に頼ることのできる勇気と、面白いアイデアが必要である、という先生の言葉が印象深かったです。勉強になりました。
- ・自分の「当たり前」が本当に「当たり前」であるかどうか、常に考えながら支援を見直すことができるようにしていきたいと思います。他の実習先の様子もうかがえ、良い機会となりました。
- ・自分の実習の振り返りに役立ちました。今後の目指すソーシャルワーカー像をめざし、さらに学んでいきたいと感じます。